

瀬谷支部長 森田裕子 (S56年卒)

横浜市の最も西に瀬谷支部は位置しています。昭和44年10月1日の行政区再編成にともない、戸塚区から分割して発足しました。南北に細長い地形で、農業地帯として発展し、明治30年代以降は養蚕業が盛んでした。大正15年に神中鉄道（現、相鉄本線）が開通し、住宅地になりました。昭和30年代から東京や横浜など都心部のベットタウン的性格が加わりました。「豊かな水と緑に育まれる、ふれあいと活力の街」を目指して街づくりを進めています。



町には、歴史的建造物としても価値のある長屋門公園があり、子どもたちの学習に大いに役立っています。また、7月の初旬には、長屋門で灯籠祭りが行われ、その幻想的な美しさを満喫することができます。

現在瀬谷区には横浜市立の小学校が11校、中学校が5校、特別支援学校が1校、神奈川県立の養護学校が1校あります。友松会は約90名の校内会員と約160名の校外会員とで構成されています。

校内会員の方々は、日々子どもたちの



ために各学校で活躍されています。OBの会員の方々は、各学校での教育活動が充実するよう、日頃から温かい目で後輩たちを見つめていただき、深く感謝しております。

なかなか友松会の活動を活性化することができず、支部総会も滞りがちになっておりますが、校外会員の方々の中には、長年、必ず会費を納めてくださっている方もおり、心強く思っております。若い方々の参加について、さらに情宣を勧め、会員にとってより有意義な運営ができるよう、努めていきたいと思っております。

